

---

所 属 : 芸術学部 美術学科 彫刻専攻

職・氏名 : 講 師 田中 圭介

研究キーワード : 彫刻、木彫、現代美術

---

■ 研究テーマ

① テーマ:《木彫 ⇔ 現代美術》

概要: 木彫は日本の文化背景に連動し伝統的な発展を遂げた分野であり、素材である木材は古来より建築、家具、雑貨など生活に根ざしたあらゆる場面で用いられてきたもので、日本人のアイデンティティを担う確固たる強度があると考えます。

また海外に目を向けても、木材を用いた表現はその土地の風土や歴史を色濃く反映し、日本とは異なる視点を持って、注目すべき発展を遂げています。

近年、芸術理論の展開や科学技術の発達により、彫刻の思考は多角的多義的な展開を見せ、それに伴い素材の扱いやその加工技術においても様々な提案がなされています。

このようなグローバルな視点と、ローカルなアイデンティティを融合させ彫刻の歴史的な文脈を牽引することを研究テーマとします。

■ 主な特許、芸術作品等



「山頂のアトリエ」 2014

H140×W218×D115 (cm)

樟、杉、アクリル絵の具、オイル



「傾天」 2012

H203×W212×D125 (cm)

樟、朴、アクリル絵の具、他



「楽景」 2013

H33×W63×D63 (cm)

樟、アクリル絵の具、オイル



「回天」 2008

H270×W260×D257 (cm)

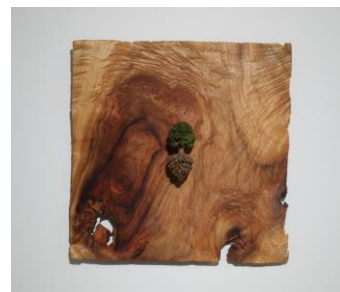
樟、アクリル絵の具、他



「天道」 2007

H296×W510×D530 (cm)

銀杏、アクリル絵の具、他



「I am」 2011

H50×W50×D10 (cm)

樟、アクリル絵の具、オイル